

討論者：平川幸子先生

発表者：嶋内佐絵

早稲田大学アジア太平洋研究科博士課程在学中、日本学術振興会(JSPS)特別研究員(DC1, 2010~)、アジア地域統合のための世界的人材育成拠点(GIARD)特別フェロー

タイトル

東アジアにおける高等教育の国際化と英語による国際プログラム (IP-EMIs) の「地域の創造」に対するインパクト

要旨

東アジア地域においては、民間の進学志向や高等教育の大衆化、近年における急速な経済成長と国境を越えた人的交流の促進に伴い、各国における高等教育機関でも「国際化」と呼ばれる動きが進展してきた。その中でも、近年増加して教育プログラムの教授媒介言語を英語にし、英語のみで学位取得を可能にした国際プログラム、「International Programs in English as a medium of Instruction (IP-EMIs)」である。これらの英語による教育プログラムは、国際社会における国内学生の競争力向上とグローバル人材の育成などの目的のほか、言語の多様性が豊かな東アジアの高等教育において、英語が教授媒介言語になることによって域内留学の形に柔軟性が生まれ、海外の多様な言語・社会的背景を持った留学生を誘致することを可能にし、東アジア地域内の留学生移動の促進要因ともなっている。さらには、東アジア共同体構想の一環としてアジア版エラスムス計画とも言われる「キャンパス・アジア構想」が現実化し、高等教育分野における国境を越えた域内相互依存関係が進展しつつある。このような潮流を踏まえ、当研究では高等教育の国際化とその中での教育プログラムにおける教授媒介言語の問題に着目し、東アジア地域における将来的な地域共同体形成と、その文脈の中で位置付けられる地域的な高等教育政策の中で、教育媒介言語の問題を議論するためのフレームワークを提示し、今後の地域的共同体形成へ向けた高等教育の地域的発展のための示唆としたい。